

名城大学・東北大学連携協定キックオフイベント開催されました

令和元年台風 19 号調査報告会

～河川, 気象, 地盤, 史学, 災害医療の各分野から～

■日 時: 2020 年 1 月 8 日(水) 14:00～17:00

■会 場: 名城大学天白キャンパス 共通講義棟南 S-103

参加者は一般から 140 名程度, 学内学生が 60 余名, 学内教員は把握しておりませんが, 合計 200 名超でした。報告会は下記の流れで開催されました。

・開会あいさつ: 小原章裕学長

・連携協定と自然災害リスク軽減研究センターの説明: 小高猛司センター長



小原章裕学長



小高猛司センター長

★調査報告会: 下記タイトルで報告が行われました。

① 名城大学自然災害リスク軽減研究センターからの報告

「河川工学, 移動床水理学的視点からみた 千曲川の災害概要」

溝口 敦子 教授(理工学部社会基盤デザイン工学科)

② 東北大学災害科学国際研究所からの報告

「台風第 19 号による記録的な大雨の気象要因および鳴瀬川水系吉田川の調査報告」

橋本 雅和 助教(災害リスク研究部門環境変動リスク研究分野)

「令和元年台風第 19 号調査報告会 ～地盤・斜面災害～」

森口 周二 准教授(地域・都市再生研究部門計算安全工学研究分野)

「令和元年台風 19 号に対する宮城県の災害医療対応について」

佐々木 宏之 准教授(災害医学研究部門災害医療国際協力学分野)

「台風 19 号災害における文化財マップと歴史の教訓」

蝦名 裕一 准教授(人間・社会対応研究部門災害文化研究分野)

「19 世紀初頭丸森町の「町場替」と 2019 年台風 19 号被害について」

川内 淳史 准教授(人間・社会対応研究部門歴史資料保存研究分野)



溝口 敦子 教授



橋本 雅和 助教



森口 周二 准教授



佐々木 宏之 准教授



蝦名 裕一 准教授



川内 淳史 准教授